

**研究機関名：**公立はこだて未来大学、東京女子医科大学、株式会社iD（総務省：SCOPE採択）

**研究の概要：**脳腫瘍摘出術では、最大限の腫瘍摘出率と最小限の術後合併症の両立が求められるため、術者に経験と知識による高度な判断が要求される。このため担当する術者は、手術室にて実施される高度な脳外科手術を**臨床経験豊富な熟練医によるモニタリング**と必要に応じてコメント得ることが可能な環境が有効である。そして、多忙である熟練医においては手術室の術中の様子や情報を遠隔地からオンデマンドに接続し、医用画像情報、手術室や顕微鏡からの手術画像情報などの所望の情報を安全、高信頼かつ高精度（高精細）に取得しコメント可能な環境が望まれている。同時に取得可能となった膨大な情報を統合・解析して、**脳外科手術ナビゲーション機能と未来予測型手術支援技術による5年生存率向上**と術後合併症の低減を目指した新規な高度脳外科手術支援システムの実現を目標とする。

本研究では脳腫瘍摘出術時に遠隔地にいる熟練医とオンデマンドに情報共有を可能とする**JGNのネットワークとRISEのSDNを用いた遠隔術中情報共有システム**を開発を行う。

